

海外安全対策情報 2017年度第4四半期（1～3月）

1 社会・治安情勢

- (1) 2月～3月にかけて、タクシー運転手を狙った殺人事件が首都付近で相次いで発生した。これら事件に対して当地メディアは、「恐喝組織が、通常徴収している恐喝金に加え、『セマナサンタ（「聖週間」）ボーナス』金を払うことを強要している。これら支払いを督促するため、見せしめに運転手らを殺害している。」と報道しており、暗殺を恐れた公共交通機関運転手らが同業務を拒否するなど、交通機関にも影響が出ている。
- (2) 対日感情は良好である。

2 一般犯罪・凶悪犯罪の傾向

- (1) 国家文民警察が発表している犯罪統計によると、その数は軒並み減少傾向にあり、国家文民警察による治安対策に一定の効果が出ているものと思われる。

殺人	907件	（前年比	16.4%減）
傷害	1,051件	（	” 20.1%減）
強盗・窃盗	2,907件	（	” 4.3%減）
強姦	102件	（	” 29.2%減）
誘拐	7件	（	” 変化無し）
行方不明	623件	（	” 23.4%減）
家庭内暴力	283件	（	” 19.4%減）

(2) 銃器の蔓延

当国では、銃器が容易に入手できるため、殺人、強盗、短時間誘拐の殆どに銃器が使用されている。国家文民警察の報告によると、本年1月～3月に治安当局が取り扱った殺人事件907件のうち、銃器を使用した事件は730件（全体の80.4%）に達する。殺人事件の銃使用率は、前年比で13.3%減であるものの、依然として邦人がこれら銃器を使用した犯罪に遭遇（巻き込まれる）する危険性は極めて高い。

(3) 邦人の被害事案 情報無し。

(4) 邦人以外の被害事案（代表的事例のみ）

ア 1月11日、グアテマラ市第14区において、グアテマラ国家文民警察特殊部隊が麻薬捜査上につながっていた男性の車両を追跡、停車させようとした

ところ、同人が空中に向け発砲した。同人を確保し車内を捜査したところ、軍仕様のM4ライフル1丁（砂漠迷彩色、5.56mm口径）、散弾銃3丁（12mm口径）、拳銃3丁（9mm口径）および拳銃用弾倉15個、手錠1つが見つかった。

イ 2月13日、同15日および3月23日、当館事務所から50m離れた路上で、タクシー運転手（流しのタクシー）が、館員が日々昼食をとるショッピングモール「ロス・プロセレス」の前で停車し、客待ちをしていたところ、銃撃され死亡した。

ウ 3月15日、首都在住邦人の多くが居住するグアテマラ市第14区内の大手チェーン系薬局に、武装した男ら2名が侵入、同店舗が雇用していた警備員へ発砲した。同警備員は、2箇所の銃創を腹部に負ったものの、命に別状はなかった。

3 誘拐・脅迫事件

資産家に限らず、一般市民がターゲットとなり、その大半は営利誘拐である。被害を届け出ても犯人に対する処罰や被害の補償を望めないばかりか、報復される恐れもあり、犯人に身代金を支払い、警察に被害届を提出しないケースが多い。日本人を含む東洋系外国人は一般的に裕福と見られているので、ターゲットにならないよう日頃から注意する必要がある。

4 日本企業の安全に関わる諸問題

脅迫電話および同メールは、腹いせやいたずらによるものが大部分であるものの、避難や警察当局への通報などの処置をすることが肝要である。（了）